

※2023年5月2日～2025年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	あさい みやび 浅井 雅	職名	特任准教授 (博士 (学術))		
専門分野	歴史学、近世日本史、日本思想史、日本文化史				
所属学会	日本史研究会、大阪歴史学会、日本思想史学会、日本儒教学会、教育史学会、AAS、EASJS 等				
担当科目	歴史学概論、文化史、社会史、近現代史概論、都市祭礼論、公務のための人文科学、基礎演習 ab、専門演習 ab、総合政策概論、政策科学入門Ⅰ、「人間たれ」Ⅱ				
Ⅰ 教育活動					
教育実践上の主な業績		概	要		
1. 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		・ 実地見学/体験型学習の導入 ・ 身近な事柄から大きなテーマへと話を広げながら、文献も上げつつ、対話を重視し、講義を行っている。 ・ リアクションペーパーの使用			
2. 作成した教科書、教材、参考書		・ 講義において学生に配布する教材 (パワーポイントを利用) の作成と改良 ・ オンライン/オンデマンド教材の動画作成及び改良			
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし			
4. その他教育活動上特記すべき事項		なし			
Ⅱ 研究活動					
著書					
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著のみ記入)	該当頁数
1. 『近世藩儒の研究—18 世紀 龍野藩を中心に』	単著	2025 年 2 月	ペリかん社		1-224 頁
論文					
1. 【「研究ノート」一柳満喜子 及び近江兄弟社の初期教育 活動 “The Omi Brotherhood in Nippon” 第 16 章の翻訳とと もに一」	単著	2024 年 3 月	『四日市大学論集』第 36 巻 第 2 号 (四日市大学学会)		2-28 頁
学会発表					
発表 (報告) 名等	単独 共同	発表の年月	学会名等		
1. 【パネル発表】 “Confusian Scholars and Marriage During the Tokugawa Period”	単独	2023 年 7 月	Asian Studies Conference Japan、 於：上智大学 (東京都千代田区) パネル名：“Under Confucian Eaves : Birth, Age, Illnes, and Death During the Tokugawa Period” メンバー：ベティーナ グラムリヒ＝岡 (上智大学)・清水則夫 (明 治大学)・浅井雅 (四日市大学)・本村昌文 (岡山大学)・高橋恭寛 (多摩大学)		

2. “Historical Documents Related to the Teaching and Learning of Early Modern Domains: Focusing on several domains in western Japan” (「近世諸藩の教学関係史料: 西日本を中心として」)	単独	2023 年 9 月	The 33rd EAJRS (European Association of Japanese Resource Specialists) Conference 於: Faculty of Arts, KU Leuven (Leuven、Belgium)
3. 「書評: 榎本恵理『本居宣長から教育を考える 声・文字・和歌』(ぺりかん社、2023)」	単独	2024 年 3 月	教育史フォーラム・京都 第 51 回例会 於: 京都市学校歴史博物館 (京都府京都市)
4. 「藩校の成立・展開と藩儒の役割—18 世紀後半以降の龍野藩を中心として—」	単独	2024 年 4 月	近江の藩校学習会 於: 滋賀大学大津サテライト (滋賀県大津市)
5. 「藩儒の婚姻と姻戚関係—龍野藩を中心として—」	単独	2024 年 5 月	関西大学セロリの会 於: Zoom
6. 【パネル発表】“The Survival of the Confucian Scholar’s Household in the Tokugawa Period”	単独	2024 年 7 月	AAS in Asia Conference 2024 於: ガジヤマダ大学 (ジョグジャカルタ、インドネシア) パネル名: “Premodern Global Asias: Continental Ideals and Domestic Applications in Tokugawa Japan” メンバー: 清水則夫 (明治大学)・高橋恭寛 (多摩大学)・ベティーナ グラムリヒ=岡 (上智大学)・浅井雅 (四日市大学)・本村昌文 (岡山大学)・ラハディティヤ・プスパ・キラナ (エアランガ大学)
7. 「藩校設立以前の藩儒の活動—18 世紀龍野藩を中心として—」	単独	2025 年 1 月	近江の藩校学習会 於: 滋賀大学大津サテライトプラザ (滋賀県大津市)
外部資金			
資金名	助成期間	課題名等	
1. 科学研究費 若手研究 (研究代表者)	2019 年 4 月～ 2024 年 3 月	研究課題: 「近世日本の武家社会における儒学の『学問』化過程の社会的実態と歴史的意義の解明」(研究課題番号: 19K12968)、 研究者: 代表者＝ <u>浅井 雅</u> 助成金額: 2860 千円	
2. 科学研究費 特別研究員 奨励費 (研究代表者)	2021 年 4 月～ 2024 年 3 月	研究課題: 「18 世紀岡山藩を中心とした儒者の社会的実態と精神性に関する思想史的研究」(研究課題番号: 21J40028)、 研究者: 代表者＝ <u>浅井 雅</u> 助成金額: 2080 千円	
3. 科学研究費 基盤研究 (C) (研究分担者)	2023 年 4 月～ 2026 年 3 月 (予定)	研究課題: 「18 世紀後半における儒学受容の研究——〈家〉を中心に」(研究課題番号: 23K00099)、 研究者: 代表者＝清水則夫 (明治大学理工学部准教授)、 分担者＝本村昌文 (岡山大学ヘルスシステム統合科学研究学域教授)、 グラムリヒ・オカ ベティーナ (上智大学国際教養学部教授)、 高橋恭寛 (多摩大学経営情報学部准教授)、 <u>浅井 雅</u> 助成金額: 4680 千円 (総額)	

4. 四日市大学学会出版助成 (研究代表者) 交付決定日：	2024 年 2 月	書名：『近世藩儒の研究—18 世紀龍野藩を中心に—』 研究者： <u>浅井 雅</u> 助成金額：544.5 千円
5. 科学研究費 若手研究 (研究代表者) 研究期間：	2024 年 4 月～ 2027 年 3 月 (予定)	研究課題：「18 世紀武家社会における儒学受容—地域間における差異に着目して—」(研究課題番号：24K15917)、 研究者：代表者＝ <u>浅井 雅</u> 助成金額：2860 千円
6. 四日市大学特定プロジェクト助成 (研究分担者) 研究期間：	2024 年 4 月～ 2027 年 3 月 (予定)	研究課題：「実践する総合政策—三重県名張市における人口減少問題に対して—」 研究者：代表者＝三田泰雅 (四日市大学 総合政策学部 教授) 分担者＝小林慶太郎 (同上) 岡良浩 (同上) 倉田英司 (四日市大学 総合政策学部 特任准教授) 吉川和挟 (同上) 小西琴絵 (同上) 川崎綾子 (同上) 二村建也 (四日市大学 総合政策学部 特任助教) 松本彩月 (同上) <u>浅井 雅</u> 協力者＝我山博章 (名張商工会議所) 助成金額：225.9 千円 (総額)
Ⅲ 社会における主な活動		
役員・委員等		
2017 年 7 月～2023 年 9 月	八尾市史編集委員会 近世部会 専門部会員 (大阪府八尾市)	
2019 年 4 月～現在に至る	近江八幡市 子ども・子育て会議 委員 (滋賀県近江八幡市)	
2024 年 4 月～現在に至る	枚方市 古文書入門講座 講師	
講演等		
2024 年 5 月～6 月 (全 5 回)	【単独】、 <u>浅井 雅</u> 、令和 6 年度 枚方市古文書入門講座 講師 (大阪府枚方市)	
2024 年 11 月	【単独】、 <u>浅井 雅</u> 、令和 6 年度 第 47 期 四日市市民大学 D コース「知への誘い 2024」のうち「江戸時代の地域社会と学び」、主催：三重県四日市市	